



医療の道へ思い強く

製鉄記念
室蘭病院 高校生が看護体験

製鉄記念室蘭病院(前田 護体験)が26日、室蘭市知
征洋院長)の「ふれあい看 利別町の同病院で開かれ、

患者と触れ合いながら看護の仕事学ぶ高校生

参加した高校生は患者や看護師らとの触れ合いを通じて、看護の仕事に理解を深めた。

体験は、看護の日(5月12日)にちなみ毎年夏休みに実施。今年は2回に分けて行われ、28日にも予定している。この日は男子生徒3人を含む高校3年生21人が参加し、病棟に分かれて看護を体験した。

足浴では看護師の指導の下、「お湯を掛けますね」など声掛けしながら患者の足を洗った。伊達緑丘高校の白土あゆ美さんは「患者さんが笑顔で接してくれてうれしかった」と笑顔。そのほか、生まれたばかりの赤ちゃんを抱いたり、患者を洗髪したりと看護の仕事を学んだ。

登別明日中等教育学校の西村彩伽さんは「やりがいのある仕事だと思いました」と看護師として働く思いを強くしていた。

(林帆南)